

スクール・オブ・ロック

ラジオの中の学校・スクール・オブ・ロック。TOKYO FM から発信される全国ネットの番組。FM 佐賀や FM 福岡で聴くことができる。29日までこの番組中 FM 福岡のエリアで、佐賀大学のCMが流れている。CMに出演したのは佐大生達。この番組を聴いたのは昨年、理事に就任した頃。たまたま掛けたラジオから流れていて、「昔聴いていた深夜放送とはちょっと違うけれども、受験生や高校生はこんな番組好きだろうな」と思った。その直後、FM 佐賀を訪ねる機会があった。「スクール・オブ・ロックにCMを打ちませんか。熊大もやっていますよ」との話しを聞いた。広報室も昔検討をしたが予算がないとの事。そして今年、受験生のターゲットを福岡に絞り FM 福岡でということになった。

番組の名前のロックは「ROCKではなくLOCK!」。番組のホームページには「毎晩、1人でも多くのリスナーが、自分の中に眠る "心の鍵" の存在に、気付いてくれたら!とそんな想いを込めて、この "学校" は開校しました」。長と教頭が届ける "言葉" の中に、番組が届ける "音楽" の中に、リスナー達の "声" の中に、笑いの中に、悩みの中に、涙の中に、きっとどこかに、"未来の鍵" を探すキッカケが落ちてると、そう願っています。」

だから、「スクール・オブ・ロック」の「ロック」は、ロックンロールの「ROCK」じゃなく、鍵の「LOCK」「未来の鍵を握るラジオ」と書かれている。1月11日の朝日新聞にこの番組のことが載っていた。記事を書いた森田太さんは、この番組の生みの親でTOKYO FM制作部長。番組サイトのアクセス件数は年間5億近くに達する「ラジオ離れは特に若者で進んでいるのになぜ」と問われると「想像力のメディア=『見えない音や言葉で思いが届けるラジオは10代向け。』と答えると言う。さらに、「ラジオは感性が開く場所」だと。佐大生たちの声はリスナー達の想像力をどのようにかきたてているのだろうか。森田さんはこうも書いている。「大人になると想像力はしばみ出し、目に見えるものを求める」と。

十分年を重ねた私は、午後10時にスイッチを入れるが、途中で寝てしまい、未だ、番組中でのCMを聴いていない。私と同じくらい『大人』の方は大学のホームページの新着情報で学生達の声を知ることができる。

しかし、やはり、29日までには、必ず寝ないでラジオから流れるCMを聴いてみたいと思っているが。

「スクール・オブ・ロック」のHP <http://www.tfm.co.jp/lock/index.html>

佐賀大学HPの新着情報での「FM福岡」で放送中のCM紹介記事

<http://www.saga-u.ac.jp/viewnews.php?ui=c2FnYS11MjAwOQ==&fd=bnV3cw==&newsid=52>



スタジオでの収録の様子